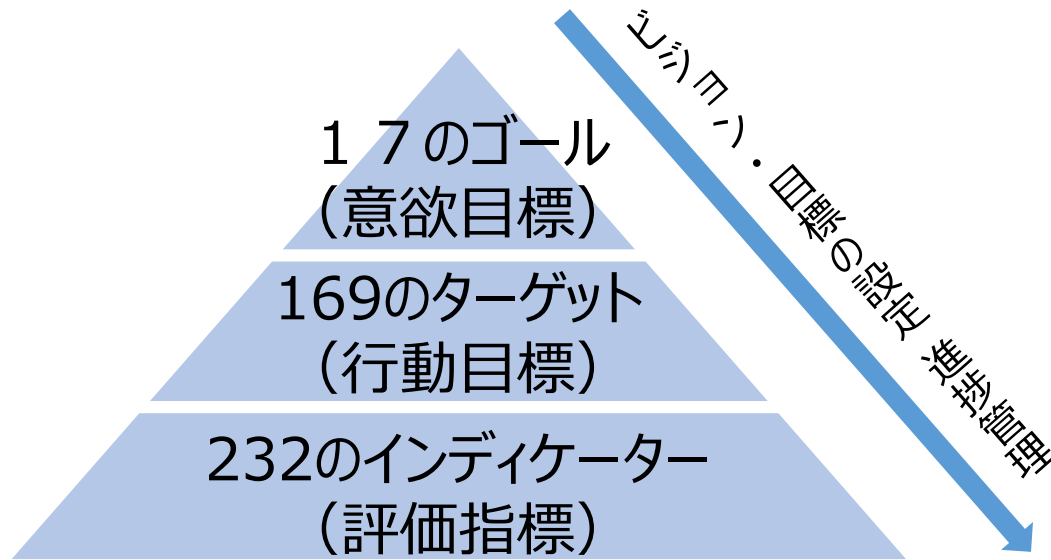




SDGs未来都市選定について

SDGs（持続可能な開発目標）とは

- 平成27年9月の国連総会で採択
- 2030年に向けた持続可能な開発のための国際目標
- 全ての国、地域に普遍的に適用される共通の枠組・ツール



<SDGs 未来都市とは>

SDGsの理念に沿った優れた取組を行うポテンシャルが高い都市として内閣府から選定される都市。特に「経済」「社会」「環境」の3側面の統合的取組で優れた取組を行うことが期待される。

※平成30年度：29自治体（県内では十津川村）

※令和元年度：31自治体（県内では、生駒市のほか広陵町、三郷町）

生駒市SDGs未来都市計画

生駒市SDGs未来都市計画の概要（令和元年10月に策定）

～ 環境モデル都市から新たなステージへ！ 経済・社会・環境が自立的好循環するまちづくりを推進！ ～

○ 特に注力する先導的取組

（経済面の取組）

- ・いこま市民パワーにおける雇用の創出
- ・シェアリングエコノミーの推進

（社会面の取組）

- ・日常の“ごみ出し”を活用した「社会コンビニエンス事業」
- ・セカンドキャリア人材のまちづくりへの参加
- ・女性の活躍促進

（環境面の取組）

- ・住宅・事業所等への再生可能エネルギーの普及促進
- ・公共施設への再生可能エネルギーの率先的な導入
- ・資源循環・コミュニティステーションによる資源の再活用

（三側面の統合的取組）

「いこま市民パワーによる日本版シュタットベルケモデル構築事業」

- ① 電力事業を核とするエネルギーコストの地域内循環の形成・市内経済の活性化
- ② コミュニティサービスによる地域課題の解決
- ③ 卒F I T電源の積極的活用等による再生可能エネルギーの普及拡大

○ 自治体SDGsの推進に資する取組

- ① 都市構造の再設計（空き家対策）
- ② ごみ排出量の削減
- ③ 高齢者支援
- ④ 子育て支援（稼ぐ教育）
- ⑤ スロースターリズムの推進
- ⑥ 農業の振興（A I・IoT等）